

図書館だより

2019 / 夏号



図書館イベント「ワタシの一行」～あなたの心にささった一行は？～

今年度も、6月3日に二階堂高校と分教室の図書委員と本好き有志のイベントが行われました。図書委員等39人が、心にぐっときた「一行(ひとかたまりの文章)」とそれが載っている本を挙げ、代表16人が発表してくれました。その後、観覧者が、発表を聞いて読んでみたいと感じた本に投票しました。

チャンプ本 雨の降る日は学校に行かない 相沢沙呼

準チャンプ本 武道館 朝井リョウ

レインツリーの国 有川浩



「生きたい。そんな言葉は一つも書かれていなくて、それなのに、手帳に刻まれた自分の文字を見つめ返す度に、どうしてか涙が溢れる。死にたい。死にたい。そう思った数だけ、わたしはきっと、生きていたい。そう思った数だけわたしはきっと、しあわせになりたい。」

自分のように苦しんでいる人の心が少しでも楽になれば……と共感した一行を発表し、紹介してくれた『雨の降る日は学校に行かない』が多数の票を集め、今回のチャンプ本に決定しました。

2年連続、紹介した本がチャンプ本！めっちゃうれしい～



図書委員の広報ポスター



今年度の広報係さんの力作です。何を讀もうか迷ったときの参考にしてくださいね♪

夏休みの閉館予定 8月13日～16日閉館
8月19日～30日午後から閉館(蔵書点検)

昨年度貸出冊数No.1、Rちゃんに聞きました！

Q. 昨年4月から3月まで213冊読んだ中で、一番面白かった本は何ですか？

はやみねかおるさんの『奇譚ルーム』です。昨年度1年は、ミステリーを読むことが多かったです。『奇譚ルーム』も軽いミステリーで、とても面白かったです。また、他の小説とひと味違うチャット風の書き方で読みやすいのでオススメです。



友だちの、イチオシ

『氷菓』 / 米澤穂信

学園ミステリーもの。殺人事件はないです。省エネ男子である折木奉太郎(おれきほうたろう)が古典部の友人たちと一緒に、学園で昔起きたとある事件を解決していくお話です。

すごく読みやすく、一度読み始めたら物語に引き込まれます。登場人物もとても個性的で面白いです。ぜひ皆さんに読んでほしいです。『氷菓』を読んで面白かったら、同じ「古典部シリーズ」の本もおすすめします。

1年5組 Yさん

『天使はモップを持って』 / 近藤史恵

主人公キリコのまっすぐさや、おしゃれなところ、キリコと大介の関係性が好きで、このシリーズを今読んでいて、時間さえあれば全部読みたいぐらい気に入っています。

2年1組 匿名希望